

2022

世界平和経済人会議 ひろしま

報告書

ビジネスによる積極的平和 — 世界の平和と安定のために —

世界平和経済人会議ひろしま

ビジネスのプラットフォームとしての「国際平和」の重要性を改めて関係者間で共有し、企業やNGOなどの各主体の役割を見つめ直し、ビジネスと平和貢献のあり方の関係を多面的に議論することで、真に平和で持続可能な国際社会につなげることを目指す。

2013年に初めて「国際平和のための世界経済人会議」を開催し、被爆から75年を迎えた2020年からは「世界平和経済人会議ひろしま」として新たなスタートを切り、今回が7回目の開催。

開催日: 令和4年9月8日(木)

主催: へいわ創造機構ひろしま(HOPe)

実施方法: ハイブリッド(会場+オンライン)

会場: 広島国際会議場 地下2階 ダリア(広島市中区中島町1-5)



オープニング・特別対談

●戦後の工業化、グローバル化と資本主義に、民主主義を掛け算した仕組みのほころびが、ウクライナの問題を契機に、エネルギー、食糧や自然災害などにおいて顕在化している。専門家やビジネス、政府関係者など様々な立場の方々が知恵を出し合い、どうすればこうしたリスクを減らし、次の戦争、平和への脅威を減らしていくことができるか。

●ビジネスができることとしてキーワードは3つ。①イノベーション、②情報、特にインターネットの時代がもたらす分断への対応、③広義の分配、特に人的資本への投資。

- ・イノベーション：事業規模の拡大が必ずしも生産性の向上に繋がってはいない。一律規模ではなく、分散し、適切な規模でコントロールすることがテクノロジーにより可能となる。
- ・情報：情報発信するビジネスの側が、どう正確に伝え、意図をもってねじ曲げられている情報を外すほか、受け手側にリテラシー教育をするか。
- ・分配（人材育成）：長期雇用の仕組みを守るだけでなく、新しいスキルを身につけることにより、世の中が変わっても労働者が稼げる力を持てるよう、意欲のある人を手助けすることが必要。



| | |
|-------|------------------|
| 御立 尚資 | 京都大学経営管理大学院 特別教授 |
| 湯崎 英彦 | 広島県知事 |

セッション1 経済安全保障とSDGsの時代におけるエネルギーの安定供給

●気候変動は命を脅かす問題であり、企業としても、市場や投資の流れが変わる中、企業価値や競争力のためにも、脱炭素化に取り組まなければならない。エネルギーミックスについては、日本は風力などポテンシャルがあり、再生可能エネルギーの可能性を追求すべきだが、一方、需要側も含めて原子力の問題も直視する必要がある。

●世界のあらゆる地域で、以前にも増して、安全性と経済性、安定供給、環境適合性の両立の重要性が増している。足元の経済や社会への負荷をしっかりと考えながら、複線的なシナリオで持続可能な脱炭素への移行を目指していくことが必要。

●CO₂を単に減らすというのではなく、グリーン・トランスフォーメーションにより、国民が高付加価値を感じられるようにする必要がある。そのための産業技術サービスを生み出していくことが必要。



| | |
|-------------------|--|
| 加治 慶光 (モデレーター) | シナモンAI 会長兼CSDO(チーフ・サステナブル・デベロプメント・オフィサー)／ 日立Lumada Innovation Hub Senior Principal／鎌倉市スマートシティ推進参与 |
| 竹内 純子 | 国際環境経済研究所理事／東北大学特任教授(客員)／U3 イノベーションズ合同会社共同代表 |
| 松尾 豪 | 合同会社エネルギー経済社会研究所 代表 |
| 三宅 香 | 日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)共同代表／ 三井住友信託銀行株式会社 ESGソリューション企画推進部 主管 |

セッション2

世界経済の不安定化の中でイノベーションによる経済成長と雇用を確保するための人材育成について

- イノベーション人材の育成につながる雇用環境を産官学で連携して作る必要がある。例えば、就職氷河期世代や難民の受入促進のため、設定した雇用率をクリアすれば税制メリットがあるような仕組みを作れば、企業も多様性・寛容性を積極的に取り入れ、それがクリエイティブな仕事のできるイノベーション人材の育成につながる。
- 社内での変革だけではなく、スタートアップ企業などの外部と連携したオープンイノベーションなど、様々な形でイノベーションの推進を支援することにより変革を促すことで、社会の課題解決につながっていく。
- これまでは社会が成長していくという前提で、多くの企業が減点主義だったのかもしれないが、失敗を経験とし、新しいことにチャレンジしていくことができる心理的安全性があれば、社会変化に対応しながら事業の継続、つまり雇用の継続が可能となる。



| | |
|--------------------|--|
| 末松 弥奈子 (モデレーター) | 株式会社ジャパントイムズ 代表取締役会長兼社長 |
| 石原 直子 | 株式会社エクサウィザーズ はたらくAI&DX 研究所 所長 |
| 井上 高志 | 株式会社LIFULL 代表取締役社長/一般財団法人NEXT WISDOM FOUNDATION 代表理事/一般財団法人PEACE DAY 代表理事/ 一般社団法人ナスコンパレー協議会 代表理事/公益財団法人Well-being for Planet Earth 評議員/一般社団法人新経済連盟 理事 |
| 高島 誠 | 三井住友銀行頭取CEO |

クロージング

- リスクや環境変化に対し、ビジネスがいかに積極的に準備を進めるか。それが繁栄や強さに繋がり、ひいては安定、そして平和に繋がる。平和があって初めてビジネスが成り立つということをウクライナでも実感。平和に対して積極的に何ができるのかということが重要な課題。
- ビジネスは、誰かがルールを作ってくれるのを待っているだけではなく、積極的に一緒にルールを作る、声掛けを行うことが重要。リスク回避に繋がる。ルール作りに欠かせないのはイノベーション。
- これまでの規範が揺らぐ状況の中で、次の時代へ向けてどう行動するのか、具体的な基準を作ることが重要。G7はそれをリードできる。2023年に広島サミットが開催され、2025年に戦後80年を迎えるタイミングでインパクトのあることができると良い。
- グローバルな経営者に働きかけ、グローバルな視点で広島から、気候変動や難民、資源を巡る争いへの対応などを含め、幅広く平和についてメッセージの発信を目指してはどうか。



| | |
|-------|--------------------------------|
| 船橋 洋一 | 公益財団法人国際文化会館 グローバル・カウンシル チェアマン |
| 御立 尚資 | 京都大学経営管理大学院 特別教授 |
| 湯崎 英彦 | 広島県知事 |

これまでの開催状況

2016 国際平和のための 世界経済人会議 (2016年10月) 平和のためのマーケティング

| | |
|--------|-----------------------------|
| セッション1 | 非人道兵器廃絶のためのキャンペーン |
| セッション2 | 平和キャンペーンのためのコミュニケーション・デザイン |
| セッション3 | 平和に貢献する非営利部門のマーケティング |
| セッション4 | 平和の貢献するソフトパワー・ビジネス |
| セッション5 | 世界経済フォーラムのYGLとの対話 |
| セッション6 | 平和貢献による新たな企業価値の創出 (BOP・CSV) |
| セッション7 | 世界平和拠点としての広島 |

2018 国際平和のための 世界経済人会議 (2018年11月) マルチステイクホルダーの パートナーシップにより、 SDGsを通じて国際平和を実現する

| | |
|--------------|---------------------------------|
| スタートアッププログラム | SDGs, BOP, CSR ビジネスの創出を通じた平和の実現 |
| セッション1 | 気候変動による平和のリスクと環境イノベーション |
| セッション2 | デジタル化する世界に潜む不安定さから平和を守るために |
| セッション3 | 新しい時代の教育を通じた平和構築 |
| セッション4 | アートによる社会への働きかけを通じた平和の実現 |
| セッション5 | 平和実現に向けたスポーツの持つ可能性 |
| セッション6 | 利他が生みだす新たな資本主義と平和の道すじ |

2019 国際平和のための 世界経済人会議 (2019年10月) ビジネスを通じて地球規模課題を 解決し、国際平和を実現する

| | |
|----------------|----------------------------|
| スペシャルセッション | 成長指標と平和 |
| セッション1 | 文化交流による平和構築 |
| セッション2 | 情報空間の安全保障によるガバナンスの保持 |
| セッション3 | アジアにおける防災・緊急支援・国際保健による平和貢献 |
| セッション4 | グローバル・ビジネス戦略を通じた平和の実現 |
| SDGs ビジネスコンテスト | 広島ピース・スタートアップ・アワード |

2020 世界平和経済人会議 ひろしま (2020年8月) COVID-19 との闘いを踏まえた 「積極的平和」と「SDGs」



※「2020広島宣言」の
全文はこちら

| | |
|------------|--|
| 基調講演 | 地球と共存する経営 |
| セッション1 | ウィズ/アフター COVID-19 の「グローバル経済」と「格差」への対応 |
| セッション2 | 都市化、工業化と気候変動等による平和のリスク (ウィズ/アフター COVID-19 を踏まえて) |
| セッション3 | グローバル社会における自治体の役割～「教育」や「自治体外交」を通じた平和構築 (ウィズ/アフター COVID-19 を踏まえて) |
| スペシャルセッション | ウィズ/アフター COVID-19 の「人間の安全保障」と「平和×ビジネス×SDGs」 |
| 総括パネル | 「2020 広島宣言」の発表 |

2021 世界平和経済人会議 ひろしま (2021年9月) 2021年・国際社会のカムバックと より良い復興 ーパンデミック・差別と格差・ 自国中心主義の克服のためにー



※「2021広島アピール」
の全文はこちら

| | |
|---------|--|
| 基調講演 | (平和と経済の善循環) |
| セッション1 | 気候変動対策のために企業ができること：脱炭素社会に向けたエネルギー転換とイノベーション |
| セッション2 | エッセンシャルな医療物資を誰もが必要な時に手に入れることのできる世界のために |
| セッション3 | 米中対立時代におけるビジネスの地政学的リスクへの向き合い方 |
| セッション4 | 行き過ぎた自由競争主義の是正：貧富の差をなくし、安定した経済と民主主義を保つために企業ができることは |
| セッション5 | 平時と戦時の境界が曖昧な時代におけるデュアルユース技術の扱い |
| セッション6 | ポストコロナ時代におけるダイバーシティ&インクルージョンの促進のため経済人にできること |
| セッション7 | コモンズが開く経営と平和の融合 |
| 総括セッション | 「2021 広島アピール」の発表 |